

和光市デジタルミュージアム紀要

第 1 0 号

目次

<研究ノート>

和光市域から出土した墨書土器の基礎的検討

中岡 貴裕 p1

和光市内で生息・繁殖が確認されたイソヒヨドリについて

坂口由加里 p7

<実績報告>

令和 5 年度 和光市埋蔵文化財調査年報

江口やよい p11

2025.6

和 光 市 教 育 委 員 会

和光市域から出土した墨書土器の基礎的検討

中岡 貴裕

1. はじめに

埼玉県内の出土文字資料（墨書土器・刻書土器等）については、既に埼玉県・埼玉県教育委員会によって『埼玉県史料叢書 11 古代・中世新出重要史料一』において集成が試みられており、埼玉県下におけるそれら出土状況に関する近年の到達点を示す成果となっている（埼玉県教育委員会 2011）。また、明治大学古代学研究所においては全国的な墨書土器、刻書土器、文字瓦の集成・データベース化を行っており、その成果は「全国墨書土器・刻書土器、文字瓦横断検索データベース」を公開するに至るなど、近年の墨書土器・刻書土器等の出土文字資料をめぐる研究環境は従来に比して飛躍的に向上していると言えるだろう。

しかし、当然ながら埋蔵文化財の発掘調査は国内各地で随時行われており、新たな資料も逐次報告されている。また、全国的な集成は言うまでも無く重要ではあるが、全国を視野に入れた上で改めて地域を振り返り、そしてその意味を考えていくことは必要な作業であると考えられる。

本稿はそうした課題意識を念頭に、和光市域から出土した墨書土器を集成し、それらを概観することで今後の研究に寄与することを目的とする。

2. 集成の基準

本稿の資料集成にあたっては次の基準を設け、それに従い作業を行った。

- ①集成する土器の主たる帰属時期は奈良・平安時代とする。
- ②集成の対象とする遺跡は、現在の埼玉県和光市域に所在するものに限る。
- ③文字の解釈及び出土土器・住居跡の年代観

については、各報告書の見解（発表当時）によるものとする。ただし、実見の結果等により異にする見解を述べる場合は、その旨を断りの上記載することとする。

- ④集成の対象とする資料は、発掘調査報告書が刊行されたものに限ることとする。

3. 和光市域における墨書土器

（1）墨書土器が出土した遺跡

和光市域には現在周知の埋蔵文化財包蔵地が43箇所あり、この中で主に奈良・平安時代の遺跡と認識されているものは13箇所である。墨書土器は上記の13箇所の奈良・平安時代のうち、花ノ木遺跡、峯前遺跡、吹上遺跡、市場峡・市場上遺跡、仏ノ木遺跡、漆台遺跡の6遺跡から出土している（表1・図1）。以下、墨書土器が出土した遺跡とその概要について述べる。

花ノ木遺跡は新倉2丁目の舌状台地上に立地し、標高は24～28m程である。これまでに16回の発掘調査が行われている。奈良・平安時代の遺構・遺物の出土量は比較的多く、特に埼玉県埋蔵文化財調査事業団による調査区からは青銅製火熨斗等が出土していることが特筆される。墨書土器は第13次調査の際に出土した第38号住居跡（9世紀前半）から1点（図2・1）が検出されている。なお、文字の判読には至っていない。

峯前遺跡は新倉2丁目の舌状台地上に立地し、標高は25～29m程である。これまでに8回の発掘調査が行われている。墨書土器は第1次調査の際に出土した第5号住居跡（10世紀代）から4点と、調査区内で1点が検出されている。第5号住居から出土した墨書土器は「加」と「万」を合わせたと考えられる文字のほか、判読できないものが3字確認される（図2・2～5）。調査区内で出土した1点（図2・

6) は灰釉陶器皿であり、「守」と判読される墨書が見受けられる。

吹上遺跡は白子3丁目に所在する遺跡である。これまでに6回の発掘調査が行われている。墨書土器は第3次調査の際に出土した第8号住居跡(8世紀第3～4四半期)と、第29号住居跡(8世紀第3四半期)から各1点検出された。第8号住居跡から出土した墨書土器(図2・7)の文字は「定」と判読される。なお、第29号住居跡から出土した墨書土器(図2・8)は判読できない。

市場峡・市場上遺跡は白子3丁目に所在する。これまでに29回の発掘調査が行われ、墨書土器は第7次調査第3号住居跡(9世紀後半)から「吉井」と判読できるものが1点(図2・9)、第19次調査の第47号住居跡(9世紀第3四半期)から「井」と判読できるものが1点(図2・10)、第53号住居跡(9世紀半ば～第4四半期)から「巾(カ?)」と判読されるものが1点(図2・11)と「吉井」と判読できるものが1点(図2・12)の合計4点が検出されている。

仏ノ木遺跡は和光市下新倉3丁目に所在する。これまでに8回の発掘調査が行われ、墨書土器は第3次調査第2号住居跡(9世紀後半)

から1点¹(図2・13)、第4次調査第3号住居跡(9世紀末～10世紀初頭)から判読不明が1点(図2・14)、第5次調査第7号住居跡(9世紀後半)から「尺」又は「艮」と判読されたものが1点(図2・15)、第6・7次調査第8a・b住居跡(9世紀末～10世紀初頭)から判読不明なものが1点(図2・16)の、合計4点が検出されている。

漆台遺跡は荒川と谷中川に挟まれた舌状台地上の基部に位置し、標高は28～29m程である。これまでに2回の発掘調査が行われ、第1次調査の際に出土した第1号住居跡(9世紀第2四半期～第3四半期)から「大」と判読される墨書土器が1点(図2・17)検出されている。なお、同住居跡からは須恵器製の円面硯が1点(図2・a)が検出されている。

(2) 釈文について

前項で述べたとおり、推定を含め文字として解釈できるものは「加万」の合わせ文字、「守」、「定」、「吉井」、「井」、「巾」、「尺」又は「艮」、「大」である。

各遺跡に共通する文字は少ないが、市場峡・市場上遺跡からは「吉井」が2点、「井」が1

表1 和光市域出土墨書土器一覧

No.	遺跡No.	遺跡名	調査次	出土遺構名・遺物番号	器種	墨書記載位置	釈文	出典(市報告書)	埼玉県集成	明治大学DB
1	2	花ノ木遺跡	13次	第38号住居跡・4	坏	底内面	?	62集		
2	3	峯前遺跡	1次	第5号住居跡・3	坏	外面	「加万」の合わせ文字	12集	○	○
3	3	峯前遺跡	1次	第5号住居跡・13	皿	外面	?	12集	○	○
4	3	峯前遺跡	1次	第5号住居跡・14	坏	外面	?	12集	○	○
5	3	峯前遺跡	1次	第5号住居跡・15	坏	外面	?	12集	○	○
6	3	峯前遺跡	1次	調査区出土遺物・13	坏	底外面	「守」	12集	○	○
7	13	吹上遺跡	3次	第8号住居跡・2	坏	底外面	「定」	30集	○	○
8	13	吹上遺跡	3次	第29号住居跡・12	坏	底外面	?	30集	○	○
9	17	市場峡・市場上遺跡	7次	第3号住居跡・6	坏	底外面	「吉井」	28集	○	○
10	17	市場峡・市場上遺跡	19次	第47号住居跡・1	坏	底外面	「井」	51集		
11	17	市場峡・市場上遺跡	19次	第53号住居跡・12	坏	外面	「巾」	51集		
12	17	市場峡・市場上遺跡	19次	第53号住居跡・13、14	坏	内面	「吉井」	51集		
13	36	仏ノ木遺跡	3次	第2号住居跡・1	坏	底内面	?	27集		○
14	36	仏ノ木遺跡	4次	第3号住居跡・2	皿	内面	?	36集	○	○
15	36	仏ノ木遺跡	5次	第7号住居跡・2	坏	内面	「尺」又は「艮」	56集		
16	36	仏ノ木遺跡	6・7次	第8a・b号住居跡・1	坏	底外面	?	65集		
17	43	漆台遺跡	1次	第1号住居跡・2	坏蓋	外面	「大」	20集	○	○
a	43	漆台遺跡	1次	第1号住居跡・1	硯			20集		

【凡例】

- ・墨書が施された土器(1～17)に加えて墨書土器関連遺物として須恵器製円面硯(a)1点を含めている。
- ・「釈文」に掲げる文字は、推定を含め認識されているものを示す。判読ができないものは「?」と表示した。
- ・「出典(市報告書)」は、叢書名「和光市埋蔵文化財調査報告書」の巻次を示す。
- ・「埼玉県集成」は、『埼玉県史料叢書11 古代・中世新出重要史料一』の掲載有無を示す。
- ・「明治大学DB」は、明治大学古代学研究所が公開する「全国墨書・刻書土器、文字瓦 横断検索データベース」の掲載有無を示す。

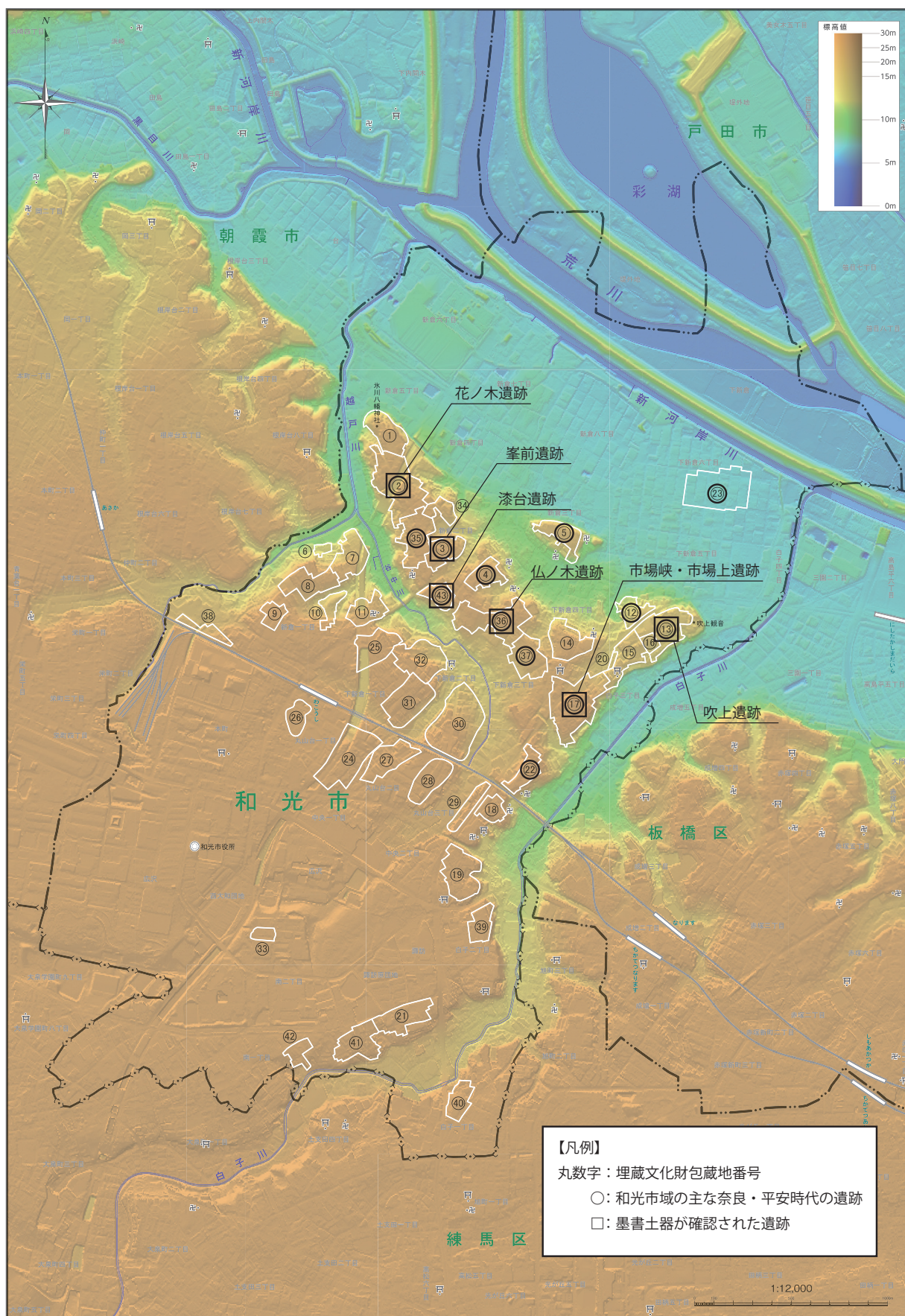


図1 和光市域の奈良・平安時代の主要遺跡と墨書土器出土遺跡
(和光市教育委員会 2023『国史跡指定記念午王山遺跡展 ～独立丘に営まれた弥生時代の環濠集落～』p4を加工して使用)

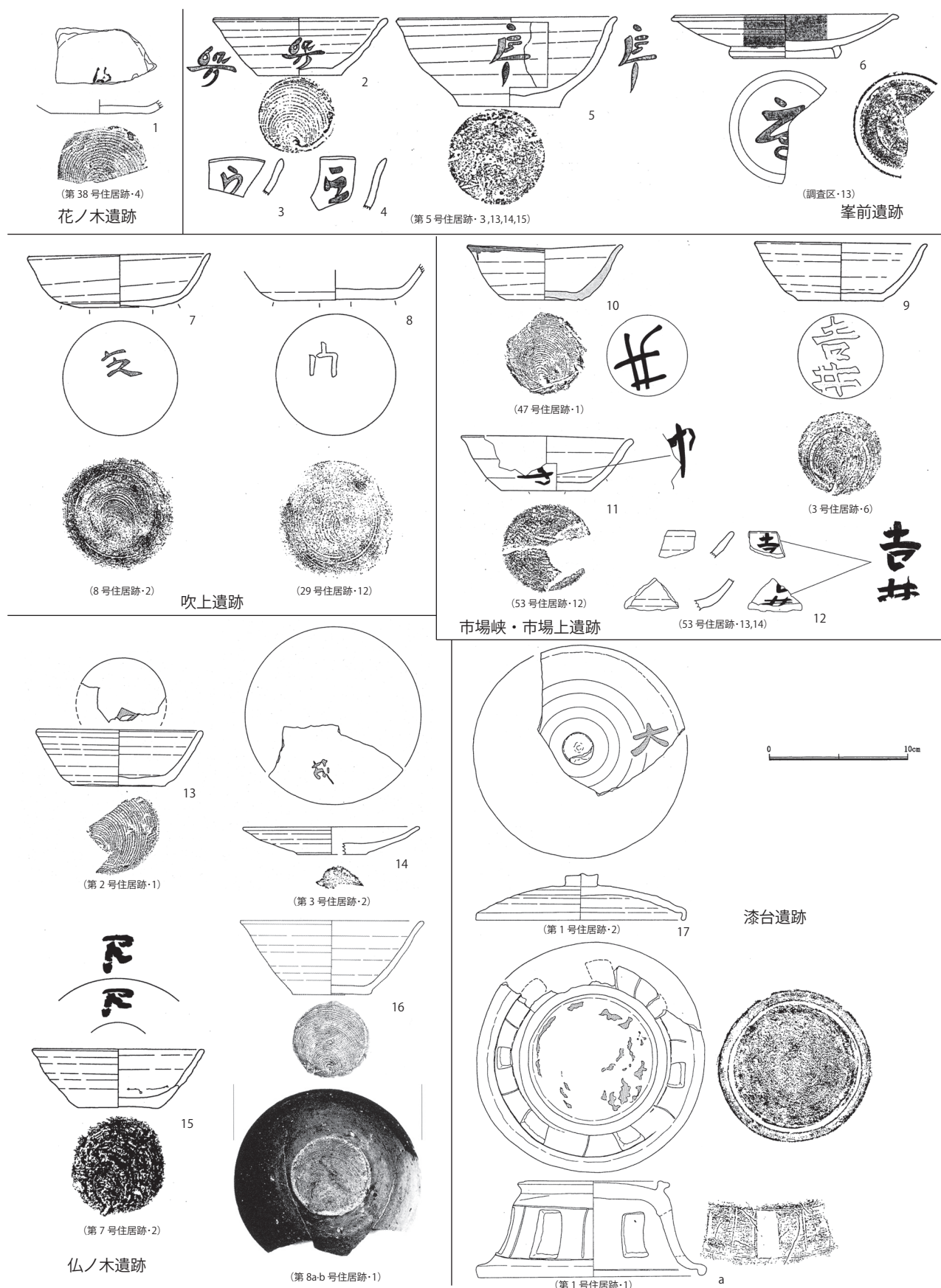


図2 和光市域出土の墨書土器
(遺物の番号は表1のNo.による。なお、()書きは各報告書で示された遺構名と遺物番号を示している。)

点検出されている点は注目される。「吉井」についての解釈は、当該発掘調査報告書中において依田賢仁氏が試みている。同氏は『続日本紀』天平神護二年（766）にある上野国の新羅人が「吉井連」の姓を賜ったとする記述と関連付け、彼らが「紡績関係の技能を持った職能集団として「吉井」という屋号を称していた」とする可能性を示しながら、他遺跡の事例から「井」は水源を示し、一文字目は所属する水源の名称に由来する、集団を称する屋号の成り立ちを想起させる一例」であることを示唆している²。後に述べるように、和光市域は『続日本紀』天平宝字2年8月癸亥条において「帰化の新羅僧卅二人、尼二人、男十九人、女廿一人を武蔵の国の閑地に移す、是れに於て始めて新羅郡を置く」³（図3）と記された新羅郡の一部に該当している。「吉井連」と「吉井」と記された墨書土器が同一の意味を表しているかは現時点で定かではないが、今後の議論に一つの材料を与える見解と言えるだろう。この点については別稿にて再考したい。

（3）墨書の記載位置について

墨書の記載位置は、表1にまとめたとおりである⁴。この限りでいえば、内面に記載されるよりも外面に記載されるものが多い傾向が見受けられる。釈文が判読されているものに限ってみると、外面に記載されているのは「加万」の合わせ文字、「守」「定」「井」「大」「巾（カ?）」である。内面に記載されているのは「尺（又は良）」が1点であり、「吉井」は内面・外面ともに1点ずつ見受けられる。検討対象資料の数量が少ないため、これをもって一概に傾向を述べることは難しい。釈文の解釈同様、他の事例を踏まえ検討すべき課題と言えよう。

4. まとめ

以上、和光市域において出土した墨書土器を概観した。墨書土器を記すことができたのは当時の識字者層であることは言うまでも無く、官人や僧等がそれに関わったことはほぼ間違いな

八月（中略）癸亥、帰化の新羅僧卅二人、尼二人、男十九人、女廿一人を武蔵の国の閑地に移す、是れに於て始めて新羅郡を置く	五（『続日本紀』） 天平宝字二年（七五八） 八月（中略）癸亥、帰化新羅僧卅二人、尼二人、男十九人、女廿一人、移武蔵国閑地、於是始置新羅郡焉
---	--

図3 『続日本紀』新羅郡建郡記事

（和光市1981『和光市史史料編一』p488-489より引用）

なお、左は右の訓読文である。

いだろう。先に述べたとおり、和光市域はかつて新羅郡（後の新座郡）と呼ばれる郡の一角をしめていたと考えられている。新羅郡内の識字層としては、建郡記事においてうかがえる「新羅僧」や「尼」らの存在のほか、郡としての行政を担う役人がそれにあたるものと推測される。墨書土器は外部から墨書されたうえで当地に搬入された可能性もあり得るが、漆台遺跡から須恵器製の円面硯が出土した点は、新羅郡域内において墨書を施すことができる環境があったことを証明する大きな材料と言えるだろう。

今回呈示した資料は和光市域に限られる。旧新羅郡（新座郡）域のこれまでの調査成果は近年『武蔵国・新羅郡の時代』としてまとめられた（鈴木・宮瀧2022）。同書は2018年に和光市において開催されたシンポジウム「新羅郡の時代を探る」の記録をまとめて刊行された本であり、旧新羅郡域の朝霞市・志木市・新座市・和光市域の発掘調査成果から新羅郡の実態の解明に迫るものであった。同書の中で宮瀧交二氏が「このシンポジウムが古代武蔵国の新羅郡研究の出発点」⁵と述べているように、新羅郡研究は今後も一層進められていくべきものであろう。地道な成果の蓄積を踏まえ、旧新羅郡（新座郡）域の実態に迫る一環として、同郡域から出土した墨書土器についても今後あらためて検討し、別稿にまとめる機会をもちたい。

【注】

1. 実見したところ墨汁状の痕跡が認められるものの、意図的な文字記載とは考えづらい。しかし、ここでは報告書に従い墨書土器の1つとして扱う。
2. 依田賢仁 2013「古代についてのまとめ」『市場峡・市場上遺跡（第18次・第19次）-和光市白子三丁目中央土地区画整理に伴う発掘調査報告書-』和光市遺跡調査会・和光市教育委員会,p95-96
3. 読み下しは図3に引用した『和光市史史料編一』p489による。
4. なお、市場峡・市場上遺跡第53号住居跡から出土した「巾」及び「吉井」の墨書土器は、発掘調査報告書中の遺物観察表（和光市遺跡調査会・和光市教育委員会 2013,p91）に「巾」が内面、「井」が内面、「吉」が外面とあるが、報告書本文及び遺物を再度実見した成果を踏まえて記載した。
5. 2018年11月24日、25日に和光市民文化センターサンアゼリアで「新羅郡の時代を探る」と題して開催されたシンポジウムの中で総括して述べられたものである。（鈴木一郎・宮瀧交二監修,シンポジウム「新羅郡の時代を探る」実行委員会編 2022『武蔵国 新羅郡の時代 朝霞市・志木市・新座市・和光市の古代遺跡をめぐる』雄山閣,p203）

【引用・参考文献】

- 埼玉県教育委員会編 2011『埼玉県資料叢書 11 古代・中世新出重要史料一』埼玉県
- 鈴木一郎 2015「和光・朝霞市域の奈良・平安時代の集落遺跡について -主に8世紀から9世紀を中心として-」『あらかわ』第16号,あらかわ考古談話会
- 鈴木一郎・宮瀧交二監修,シンポジウム「新羅郡の時代を探る」実行委員会編 2022『武蔵国 新羅郡の時代 朝霞市・志木市・新座市・和光市の古代遺跡をめぐる』雄山閣
- 和光市 1981『和光市史史料編一』
- 平川南 2000『墨書土器の研究』吉川弘文館
- 依田賢仁 2013「古代についてのまとめ」『市場峡・市場上遺跡（第18次・第19次）-和光市白子三丁目中央土地区画整理に伴う発掘調査報告書-』和光市遺跡調査会・和光市教育委員会

【報告書類（発行年順）】

- 和光市遺跡調査会・和光市教育委員会 1994『峯遺跡・

- 峯前遺跡』和光市埋蔵文化財調査報告書第12集
- 和光市教育委員会 1998『市内遺跡発掘調査報告書 1 花ノ木遺跡（第1次）・吹上遺跡（第2次）・漆台遺跡・白子向山遺跡・白子宿上遺跡（第5次）』和光市埋蔵文化財調査報告書第20集
- 和光市教育委員会 2002『市内遺跡発掘調査報告書 5 花ノ木遺跡（第6次）・仏ノ木遺跡（第2・3次）・峯前遺跡（第4・5次）・越後山遺跡（第1次）』和光市埋蔵文化財調査報告書第27集
- 和光市遺跡調査会・和光市教育委員会 2003『吹上遺跡（第3次）』和光市埋蔵文化財調査報告書第30集
- 和光市遺跡調査会・和光市教育委員会 2002『市場峡・市場上遺跡（第6次・第7次・第8次）』和光市埋蔵文化財調査報告書第28集
- 和光市教育委員会 2006『市内遺跡発掘調査報告書 9 午王山遺跡（第8次・第9次）旧石器時代編・仏ノ木遺跡（第4次）』和光市埋蔵文化財調査報告書第36集
- 和光市遺跡調査会・和光市教育委員会 2013『市場峡・市場上遺跡（第18次・第19次）』和光市埋蔵文化財調査報告書第51集
- 和光市遺跡調査会・和光市教育委員会 2014『市場峡・市場上遺跡（第12次）・仏ノ木遺跡（第5次）・半三池遺跡（第1次）』和光市埋蔵文化財調査報告書第56集
- 和光市教育委員会 2016『市内遺跡発掘調査報告書 19 花ノ木遺跡（第13次）・越後山遺跡（第7次）・峯前遺跡（第7次）』和光市埋蔵文化財調査報告書第62集
- 和光市教育委員会 2019『市内遺跡発掘調査報告書 22 仏ノ木遺跡（第6次・第7次）・市場峡・市場上遺跡（第25次）』和光市埋蔵文化財調査報告書第65集

【参考 URL】

- 明治大学日本古代学研究所：全国墨書土器・刻書土器、文字瓦横断検索データベース (<https://bokusho-db.kodaishiryō-db.jp/>)

なかおか たかひろ（和光市教育委員会）

1.はじめに

2. 埼玉県内で生息が確認された市町村

3. 埼玉県内で確認されている繁殖地点

凡例

- 生息確認
- 繁殖確認

- 7 -



図2 和光市内でイソヒヨドリを目撃した地点

にさいたま市大宮区、2023年に越谷市で確認されている（図1）。

4. 和光市内で確認されている繁殖地点

和光市内では2019年に丸山台1-9-3の大型スーパーの立体駐車場、2021年に新倉5-7-5の物流センターで繁殖が確認されている（川内2021）

5. 和光市内で目撃した地点

筆者が2022年から2024年にイソヒヨドリを目撃した地点は以下の8箇所である（図2）。

- ① 2022年 丸山台1丁目2-1付近（雄個体）
- ② 2023年 丸山台1丁目1-2付近（雌個体）
- ③ 2023年 丸山台1丁目10-15付近（雄個体）
- ④ 2023年 丸山台1丁目10-20付近（雌個体）
- ⑤ 2023年 丸山台1丁目9-3付近（雄個体）
- ⑥ 2023年 和光市本町5-2（雄個体）
- ⑦ 2023年 和光市本町13-64（雄個体）（写真1）
- ⑧ 2024年 和光市新倉5-7-5（雄個体）（写真2）

6. まとめ

2024年は和光市駅周辺でイソヒヨドリを目撃していないが、物流センター周辺では4月と5月に目撃している。確認はできていないが、繁殖している可能性は十分に考えられる。

イソヒヨドリの内陸進出の理由の1つとして考えられているのが、『岩場から人工物へと営巣地を広げた』である。緑地がある程度残っている都市部は餌となる地上性の生物の確保が容易であり、イソヒヨドリが好んで営巣する高さのある建造物が立地している。和光市内は開発により高層の建造物が増えているが、緑地が

残されており、イソヒヨドリが子育てをするのに好環境なのかもしれない。

【参考文献】

- 川内博・川内桂子 2021「埼玉県和光市におけるイソヒヨドリの生息・繁殖状況」『URBAN BIRDS』38 都市鳥研究会
- 川内博 2021「特集・首都圏のイソヒヨドリの今・その2 繁殖記録を中心として」『都市鳥ニュース』No.31 都市鳥研究会
- 細川章司・唐沢孝一 2023「埼玉県越谷市におけるイソヒヨドリ初繁殖の記録」『URBAN BIRDS』40 都市鳥研究会



写真1

(和光市本町 13-64 2023 年 10 月 5 日筆者撮影)

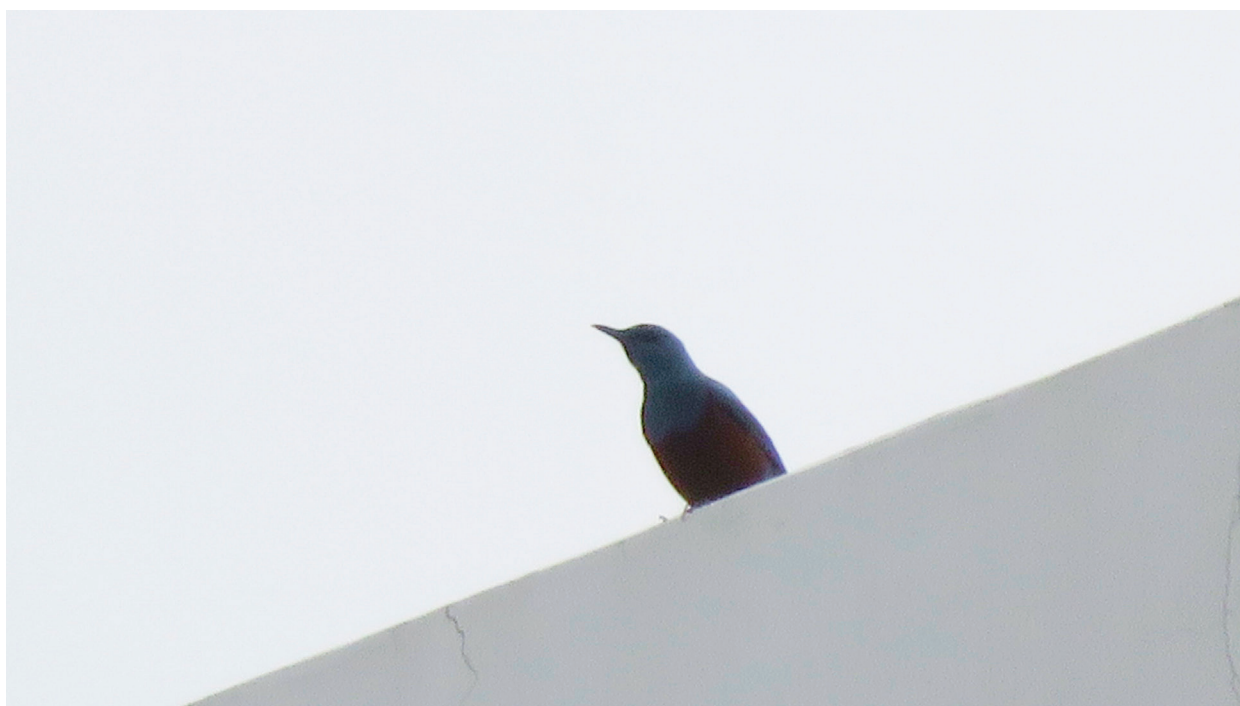


写真2

(和光市新倉 5-7-5 2024 年 4 月 27 日筆者撮影)

さかぐち ゆかり (和光市教育委員会)

令和 5 (2023) 年度 和光市埋蔵文化財調査年報

江口やよい

1. はじめに

この年報は、和光市教育委員会が令和 5 (2023) 年度に実施した埋蔵文化財に関わる調査をまとめたものである。令和 5 年度は、試掘調査を 18 件、工事立会を 10 件、計 28 件の確認調査を実施した。また、2 件の発掘調査を実施した。

試掘調査は、重機と人力による掘削作業と、測量・記録撮影を行った。工事立会は、作業状況を確認したのち記録撮影を行った。

調査ごとに、調査地の諸情報と概要、試掘調査については調査範囲を平面図化・断面図化し、また、作業状況等を撮影した写真により報告しまとめた。

2. 表記の仕方

1. 挿図の縮尺は、調査地点位置図は 1/2500、確認調査トレンチ配置図・トレンチ柱状図は任意の縮尺である。
2. 調査地点位置図は、和光市役所発行の地形図（平成 20 年修正）を一部加筆・修正加工して使用した。
3. 遺跡名の前に表記したNo.は、一覧表の番号と一致する。なお、ページ順については、試掘調査を調査日順に掲載した後、工事立会をまとめて紹介した。

資料 1 令和 5 (2023) 年度 埋蔵文化財確認調査一覧表

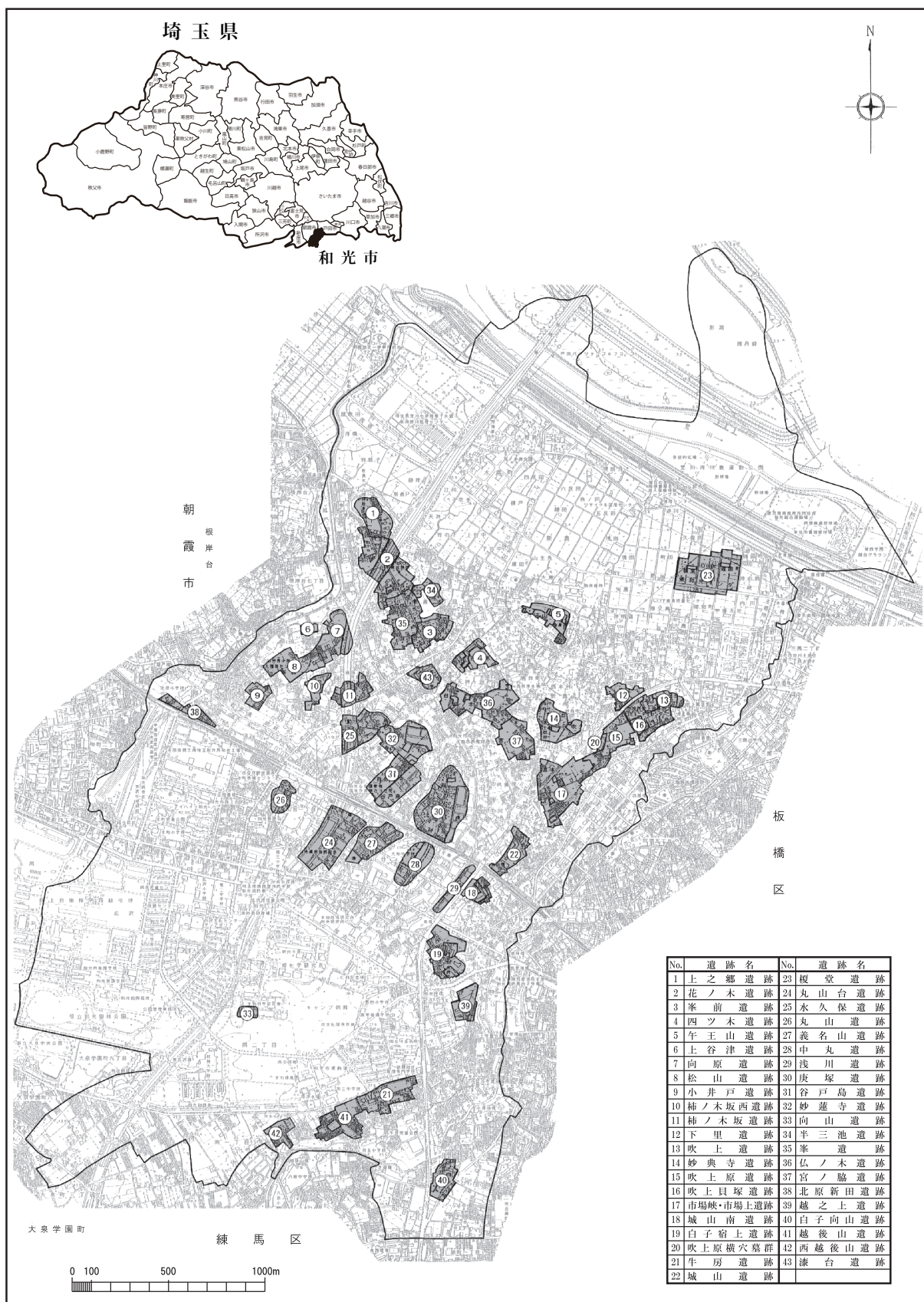
No.	遺跡名(No.)	原因	調査日	調査地	面積(m ²)	調査概要
1	小井戸遺跡 (11-009)	共同住宅建設	R5 4.10	新倉一丁目4255番 4	318.00	遺構・遺物は 確認されなかった。
2	白子宿上遺跡 (11-019)	電柱移設工事	R5 4.15	白子2-1432-1地先	2.00	工事立会。
3	峯遺跡 (11-035)	集合住宅建設	R5 5.12	新倉2丁目3515-1 の一部	398.46	遺構・遺物は 確認されなかった。
4	小井戸遺跡 (11-009)	電柱移設工事	R5 5.22	新倉1丁目1403-1	1.00	工事立会。
5	峯前遺跡 (11-003)	集合住宅建設	R5 6.13	新倉2-2985-2、 2985-5	397.09	遺構・遺物は 確認されなかった。
6	向原遺跡 (11-007)	集合住宅建設	R5 6.22	新倉1丁目3845番 1	499.00	遺構・遺物は 確認されなかった。
7	市場峡・市場上遺跡 (11-017)	土地区画整理	R5 6.28	白子3丁目609-2	90.00	遺構・遺物は 確認されなかった。
8	吹上遺跡 (11-013)	その他の建物 (事業所)建設	R5 8.16	白子3丁目4436-2 、4437-1、4438-1 の一部	895.12	遺構・遺物は 確認されなかった。
9	白子宿上遺跡 (11-019)	その他の建物 (物置・カーポート) 建設	R5 8.23	白子二丁目1444番 の一部	136.01	遺構・遺物は 確認されなかった。
10	花ノ木遺跡 (11-002)	ガス管埋設工事	R5 8.28	新倉2丁目3197-3 、3197-5、3197-6	11.00	工事立会。

No.	遺跡名(No.)	原因	調査日	調査地	面積(m ²)	調査概要
11	吹上遺跡 (11-013)	宅地造成	R5 8.31	白子3-4384-2	211.99	遺構・遺物は 確認されなかった。
12	仏ノ木遺跡 (11-036)	ガス管理設工事	R5 9.19 ～21	下新倉4丁目833 -3	45.00	工事立会。
13	仏ノ木遺跡 (11-036)	電柱建替工事	R5 10.16	下新倉3丁目847 -9	1.00	工事立会。
14	四ツ木遺跡 (11-004)	その他の 農業関係事業 (農地改良)	R5 10.24	新倉3丁目2929番 1の一部	250.00	遺構・遺物は 確認されなかった。
15	吹上遺跡 (11-013)	電柱撤去工事	R5 11.7	白子3丁目4384-2	2.00	工事立会。
16	仏ノ木遺跡 (11-036)	支線撤去工事	R5 12.4	下新倉4丁目838 -1	1.00	工事立会。
17	越後山遺跡 (11-041)	分譲住宅建設	R5 12.20	南1丁目2398番8 、14	63.07	遺構・遺物は 確認されなかった。
18	峯遺跡 (11-035)	個人住宅建設	R6 1.11	新倉2丁目4-5 (3532-1の一部)	237.23	遺構・遺物は 確認されなかった。
19	松山遺跡 (11-008)	共同住宅建設	R6 1.23	新倉1丁目4031番 、4032番1	2361.82	遺構・遺物は 確認されなかった。
20	市場峡・市場上遺跡 (11-017)	分譲住宅建設 宅地造成	R6 2.1	白子3丁目664-6	67.21	遺構・遺物は 確認されなかった。
21	越之上遺跡 (11-039)	個人住宅建設	R6 2.7	白子2丁目7番 34号	69.80	遺構・遺物は 確認されなかった。
22	午王山遺跡隣接地	土地区画整理	R6 2.14 ～28	新倉7丁目他	6098.00	遺構・遺物は 確認されなかった。
23	峯前遺跡 (11-003)	個人住宅建設	R6 2.29	新倉2丁目 2997番1	119.62	遺構・遺物は 確認されなかった。
24	小井戸遺跡 (11-009)	ガス管理設工事	R6 3.4	新倉1丁目 4241-1・3	14.16	工事立会。
25	花ノ木遺跡 (11-002)	ガス管理設工事	R6 3.5 6	新倉2丁目3439-6. -8.-14.-15.-18.-19. 3440-2.3459-2.-4. -3.-5.-6.3460-2. 3475-2	73.00	工事立会。
26	下里遺跡 (11-012)	個人住宅建設	R6 3.14	下新倉4丁目 2260-3.2261-10 の各一部	491.52	遺構・遺物は 確認されなかった。
27	北原新田遺跡 (11-038)	共同住宅建設	R6 3.21	新倉1丁目 4329番1	690.20	遺構・遺物は 確認されなかった。
28	吹上遺跡 (11-013)	ガス管理設工事	R6 3.27	白子3丁目13番地 白子3丁目4378-8	5.00	工事立会。

資料 2 令和 5(2023) 年度 埋蔵文化財発掘調査一覧表

No.	遺跡名	原因	調査期間	遺構の概要	遺物の概要	上段: 工事面積 下段: 発掘調査面積
1	越之上遺跡 第 4 次調査	集合住宅建設前 の記録保存に伴 う発掘調査	R 5 4. 17 ～28	縄文時代中期 の土坑 1 基 古墳時代前期(4 世紀) の住居跡 1 軒	縄文時代土器片 古墳時代土師器片	11582.00㎡ 100.00㎡
2	午王山遺跡 第17次調査	保存目的の 確認調査	R 5 11. 20 ～ R 6 1. 18	弥生時代の環濠と みられる溝 2 条	弥生時代土器片	— 104.00㎡

※遺構・遺物の概要は、調査時の見解を速報として記載したものであり、整理作業の過程において変更となる場合がある。



第1図 和光市遺跡分布地図

試掘調査

No. 1 小井戸遺跡

調査目的 共同住宅建設に伴う埋蔵文化財確認調査

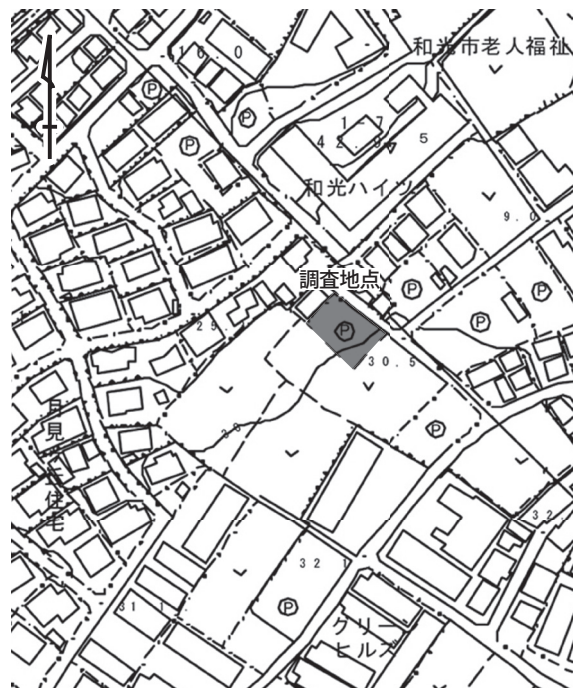
調査地点 新倉一丁目 4255 番 4

調査日程 令和 5 年 4 月 10 日

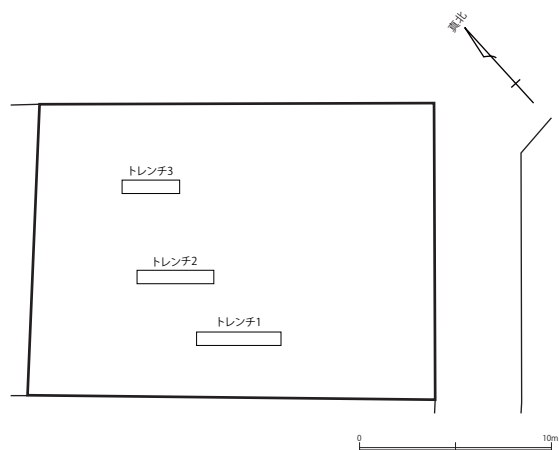
調査面積 318.00m²

調査概要 調査地は、小井戸遺跡（11-009）の北端に位置する。調査は、対象地内に幅約 70cm 長さ約 3m ～ 4m40cm のトレンチを 3 本設定した（第 3 図）。調査区全体を 60cm 程度まで掘り下げた（第 4 図）。

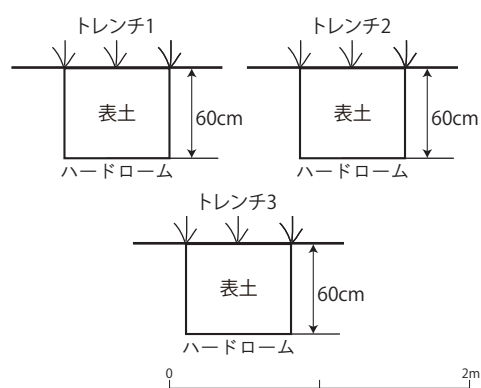
調査の結果、本地点では、遺構・遺物包含層及び遺物は認められなかった。



第 2 図 調査地点位置図 (S=1/2500)



第 3 図 トレンチ配置図



第 4 図 トレンチ柱状図



トレンチ写真 1



トレンチ写真 2

試掘調査

No. 3 峯遺跡

調査目的 集合住宅建設に伴う埋蔵文化財確認調査

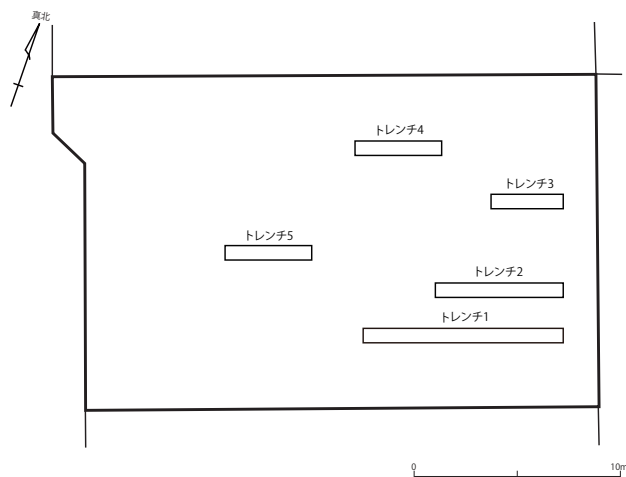
調査地点 新倉2丁目3515-1の一部

調査日程 令和5年5月12日

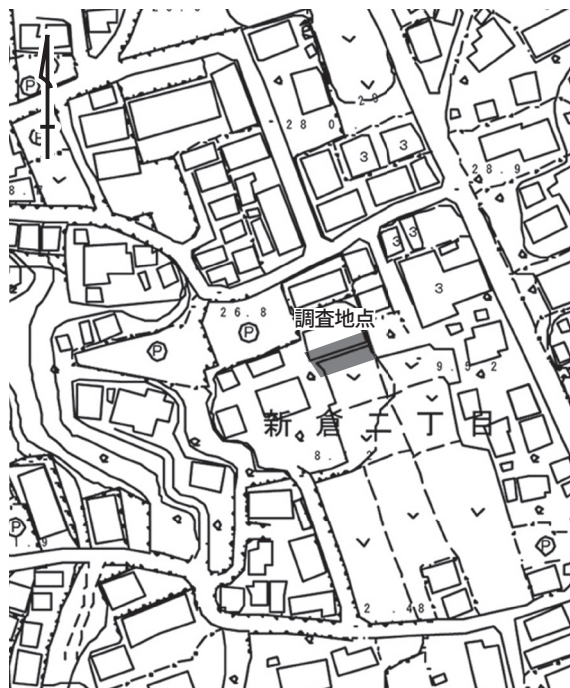
調査面積 398.46㎡

調査概要 調査地は、峯遺跡(11-035)の中央西寄りに位置する。調査は、対象地内に幅約70cm長さ約3m50cm～9m70cmのトレンチを5本設定した(第6図)。調査区全体を100cm～170cmまで掘り下げた(第7図)。

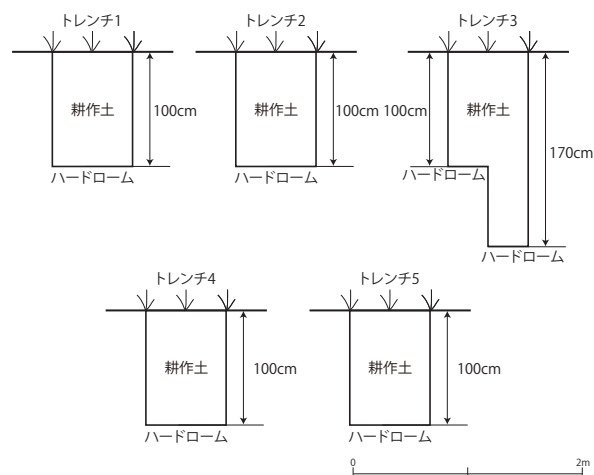
調査の結果、本地点では、遺構・遺物包含層及び遺物は認められなかった。



第6図 トレンチ配置図



第5図 調査地点位置図 (S=1/2500)



第7図 トレンチ柱状図



写真1



写真2

試掘調査

No. 5 峯前遺跡

調査目的 集合住宅建設に伴う埋蔵文化財確認調査

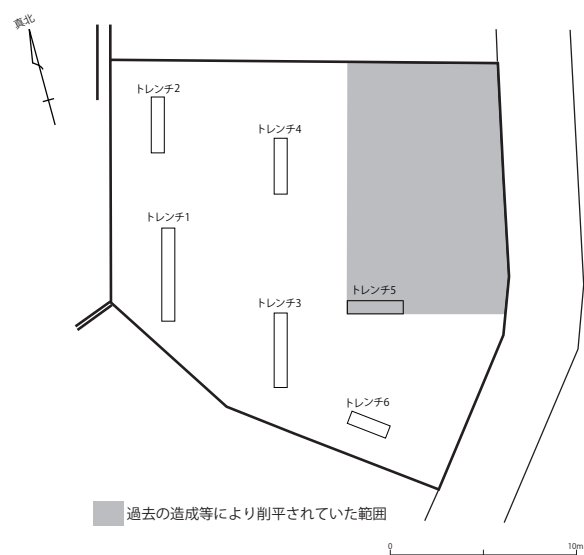
調査地点 新倉 2-2985-2、2985-5

調査日程 令和5年6月13日

調査面積 397.09m²

調査概要 調査地は、峯前遺跡(11-003)の東に位置する。調査は、対象地内に幅約70cm長さ約2m20cm～5mのトレンチを6本設定した(第9図)。調査区全体を50cm～100cmまで掘り下げた(第10図)。

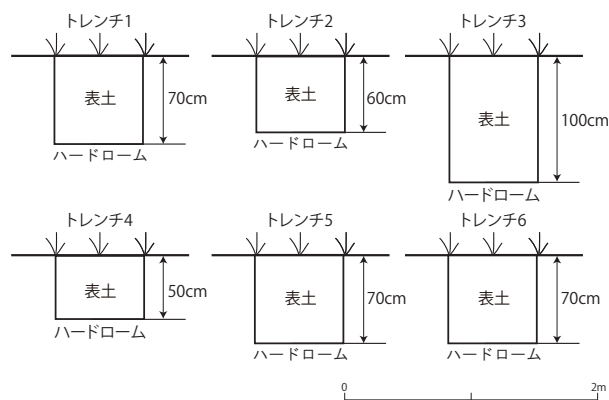
調査の結果、本地点では、遺構・遺物包含層及び遺物は認められなかった。



第9図 トレンチ配置図



第8図 調査地点位置図 (S=1/2500)



第10図 トレンチ柱状図



写真1



写真2

試掘調査

No. 6 向原遺跡

調査目的 集合住宅建設に伴う埋蔵文化財確認調査

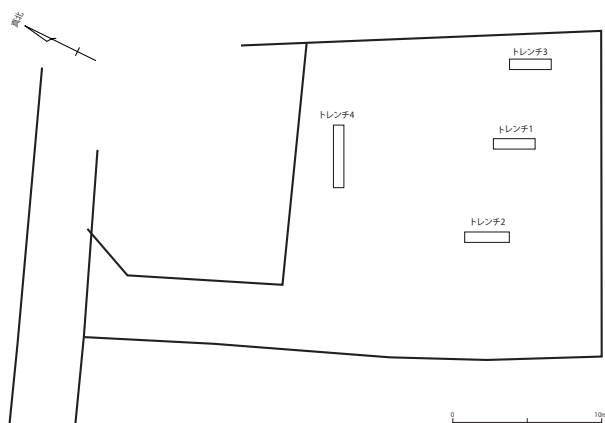
調査地点 新倉1丁目3845番1

調査日程 令和5年6月22日

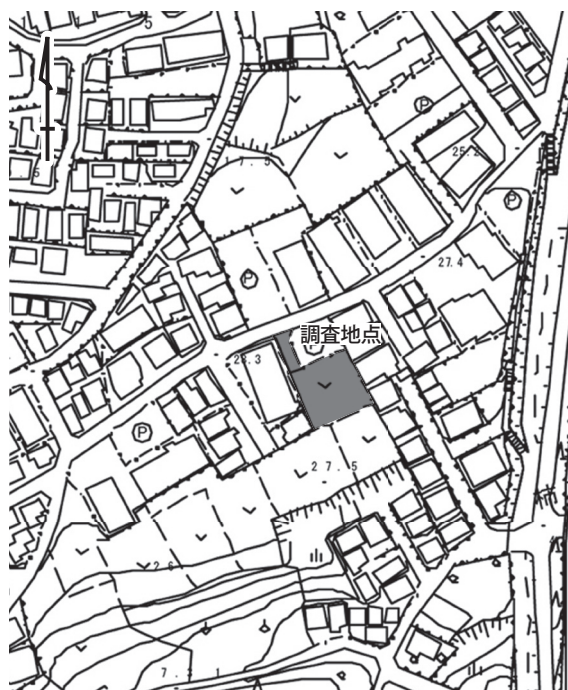
調査面積 499.00m²

調査概要 調査地は、向原遺跡（11-007）の南西に位置する。調査は、対象地内に幅約70cm長さ約2m80cm～4m20cmのトレンチを4本設定した（第12図）。調査区全体を90cm～120cm程度まで掘り下げた（第13図）。

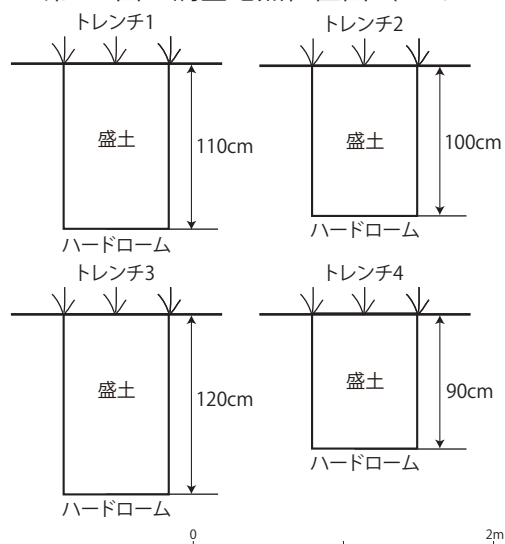
調査の結果、本地点では、遺構・遺物包含層及び遺物は認められなかった。



第12図 トレンチ配置図



第11図 調査地点位置図 (S=1/2500)



第13図 トレンチ柱状図



写真1



写真2

試掘調査

No. 7 市場峡・市場上遺跡

調査目的 土地区画整理に伴う埋蔵文化財確認調査

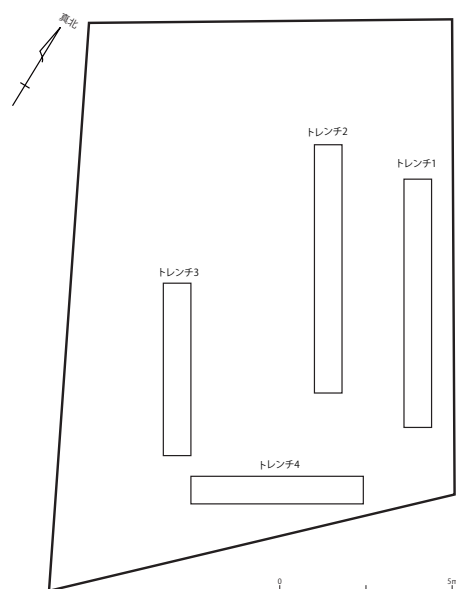
調査地点 白子3丁目609-2

調査日程 令和5年6月28日

調査面積 90.00㎡

調査概要 調査地は、市場峡・市場上遺跡(11-017)の西寄りに位置する。調査は、対象地内に幅約70cm長さ約5m～7m20cmのトレンチを4本設定した(第15図)。調査区全体を70cm～120cm程度まで掘り下げた(第16図)。

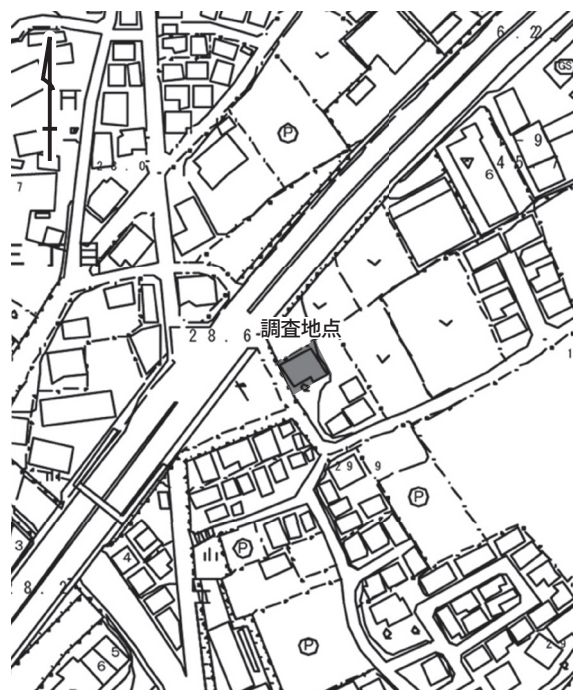
調査の結果、本地点では、遺構・遺物包含層及び遺物は認められなかった。



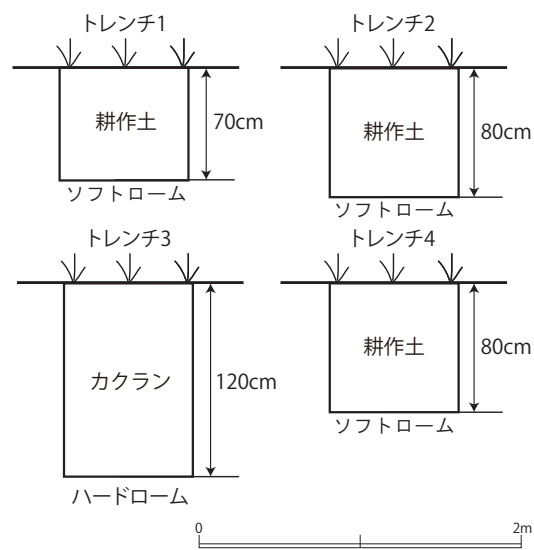
第15図 トレンチ配置図



写真1



第14図 調査地点位置図 (S=1/2500)



第16図 トレンチ柱状図



写真2

試掘調査

No. 8 吹上遺跡

調査目的 事業所建設に伴う埋蔵文化財確認調査

調査地点 白子3丁目 4436-2、4437-1、4438-1の一部

調査日程 令和5年8月16日

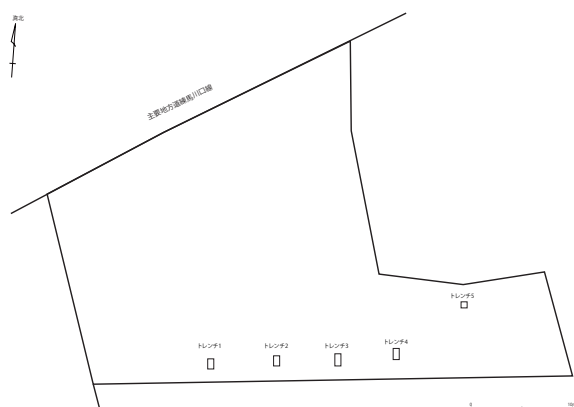
調査面積 895.12㎡

調査概要 調査地は、吹上遺跡（11-013）の北西端に位置する。調査は、対象地内に幅約60cm長さ約60cm～1m20cmのトレンチを5本設定した（第18図）。調査区全体を30cm～110cm程度まで掘り下げた（第19図）。

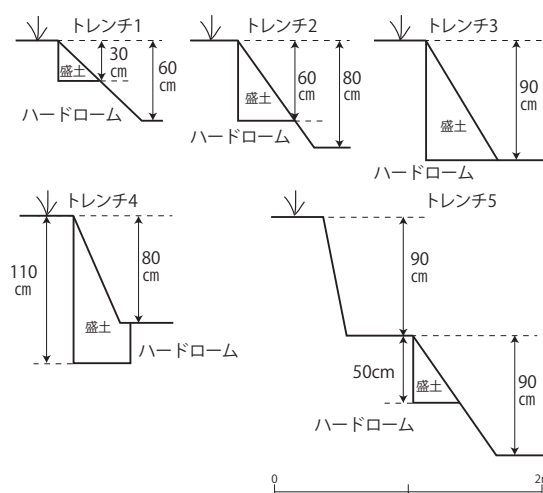
調査の結果、本地点では、遺構・遺物包含層及び遺物は認められなかった。



第17図 調査地点位置図 (S=1/2500)



第18図 トレンチ配置図



第19図 トレンチ柱状図



写真1



写真2

試掘調査

No. 9 白子宿上遺跡

調査目的 物置・カーポート建設に伴う埋蔵文化財確認調査

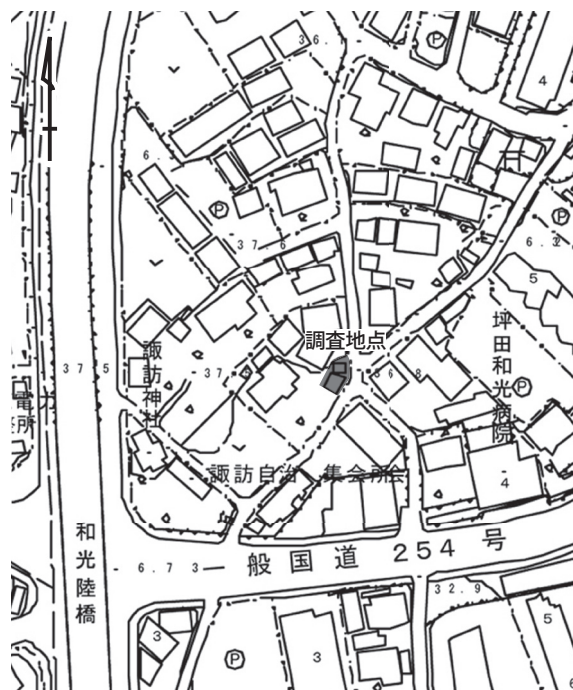
調査地点 白子二丁目 1444 番の一部

調査日程 令和 5 年 8 月 2 3 日

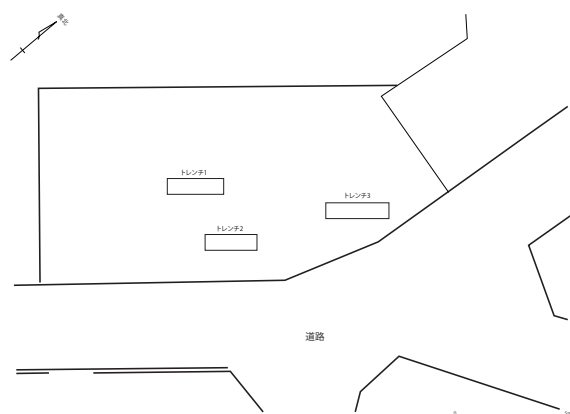
調査面積 136.01m²

調査概要 調査地は、白子宿上遺跡（11-019）の南西端に位置する。調査は、対象地内に幅約 70cm 長さ約 2m30cm～2m80cm のトレンチを 3 本設定した（第 21 図）。調査区全体を 50cm～80cm 程度まで掘り下げた（第 22 図）。

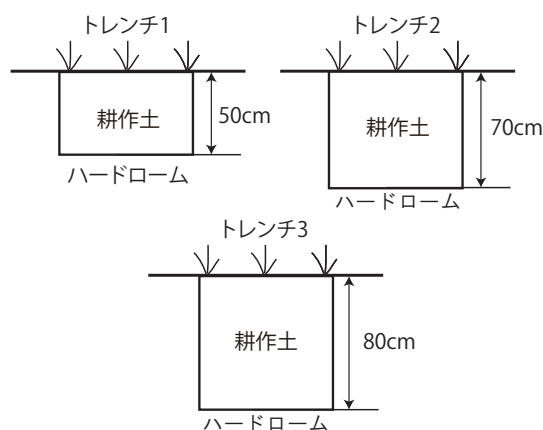
調査の結果、本地点では、遺構・遺物包含層及び遺物は認められなかった。



第 20 図 調査地点位置図 (S=1/2500)



第 21 図 トレンチ配置図



第 22 図 トレンチ柱状図



写真 1



写真 2

試掘調査

No. 11 吹上遺跡

調査目的 宅地造成に伴う埋蔵文化財確認調査

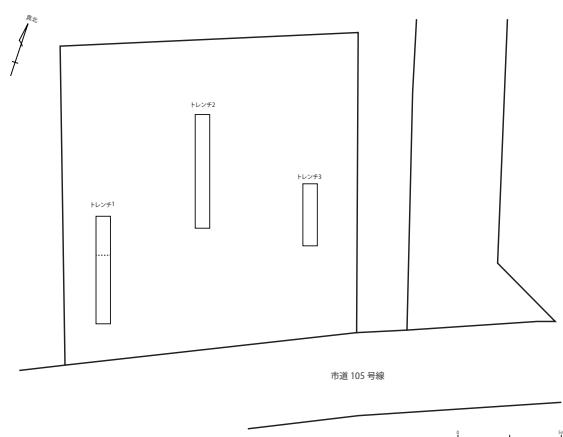
調査地点 白子 3-4384-2

調査日程 令和5年8月31日

調査面積 211.99m²

調査概要 調査地は、吹上遺跡（11-013）の南寄りに位置する。調査は、対象地内に幅約70cm長さ約3m～5m50cmのトレンチを3本設定した（第24図）。調査区全体を100cm～160cm程度まで掘り下げた（第25図）。

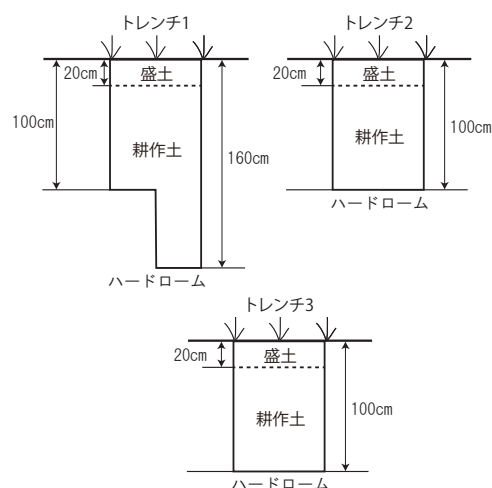
調査の結果、本地点では、遺構・遺物包含層及び遺物は認められなかった。



第24図 トレンチ配置図



第23図 調査地点位置図 (S=1/2500)



第25図 トレンチ柱状図



写真1



写真2

試掘調査

No. 14 四ツ木遺跡

調査目的 農地改良（天地がえし）に伴う埋蔵文化財確認調査

調査地点 新倉 3 丁目 2929 番 1 の一部

調査日程 令和 5 年 10 月 24 日

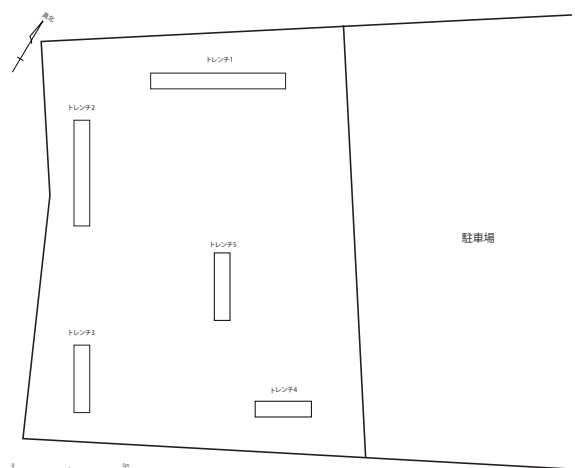
調査面積 250.00m²

調査概要 調査地は、四ツ木遺跡（11-004）の西寄りに位置する。調査は、対象地内に幅約 70cm 長さ約 2m50cm～6m のトレンチを 5 本設定した（第 27 図）。調査区全体を 90cm～160cm 程度まで掘り下げた（第 28 図）。

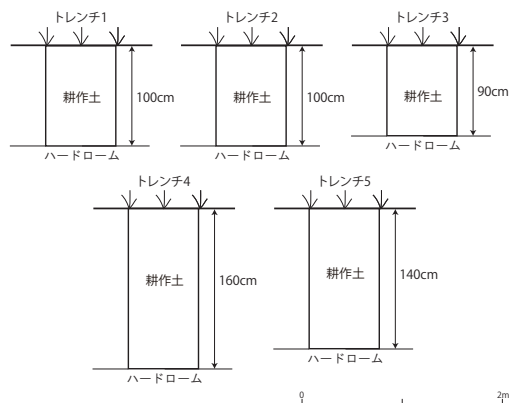
調査の結果、本地点では、遺構・遺物包含層及び遺物は認められなかった。



第 26 図 調査地点位置図 (S=1/2500)



第 27 図 トレンチ配置図



第 28 図 トレンチ柱状図



写真 1



写真 2

試掘調査

No. 17 越後山遺跡

調査目的 分譲住宅建設に伴う埋蔵文化財確認調査

調査地点 南1丁目2398番8、14

調査日程 令和5年12月20日

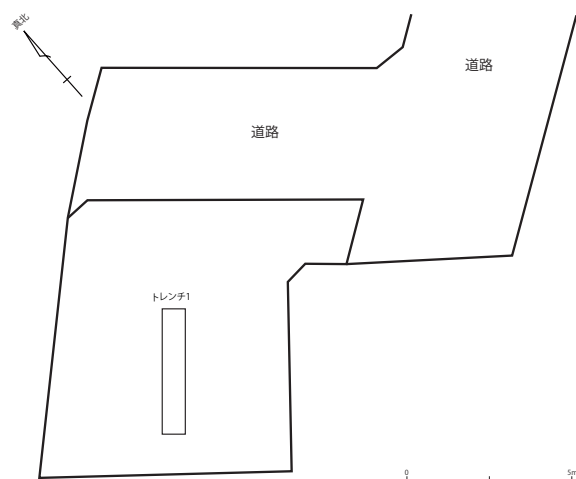
調査面積 63.07㎡

調査概要 調査地は、越後山遺跡(11-041)の東に位置する。調査は、対象地内に幅約70cm長さ約3m80cmのトレンチを1本設定した(第30図)。調査区全体を40cm程度まで掘り下げた(第31図)。

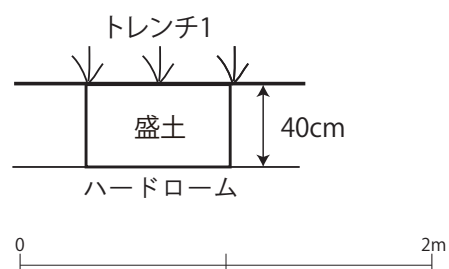
調査の結果、本地点では、遺構・遺物包含層及び遺物は認められなかった。



第29図 調査地点位置図 (S=1/2500)



第30図 トレンチ配置図



第31図 トレンチ柱状図



写真1



写真2

試掘調査

No. 18 峯遺跡

調査目的 個人住宅建設に伴う埋蔵文化財確認調査

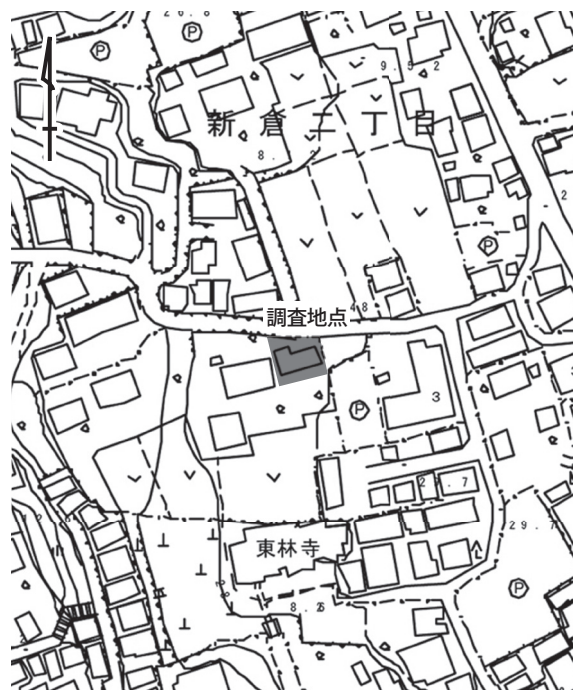
調査地点 新倉 2 丁目 4-5 (3532-1 の一部)

調査日程 令和 6 年 1 月 1 日

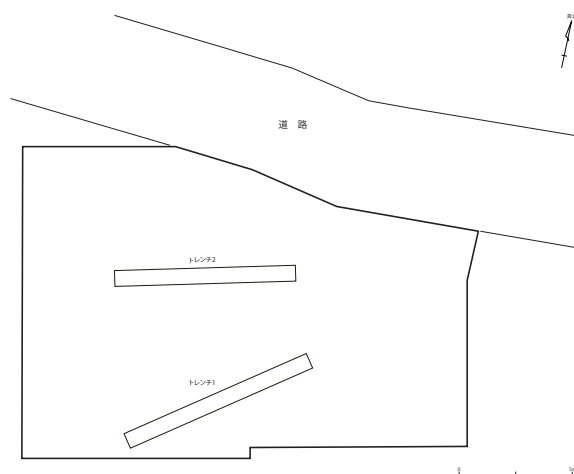
調査面積 237.23m²

調査概要 調査地は、峯遺跡 (11-035) の南西寄りに位置する。調査は、対象地内に幅約 70cm 長さ約 8m と 8m80cm のトレンチを 2 本設定した (第 33 図)。調査区全体を 30cm ～ 60cm 程度まで掘り下げた (第 34 図)。

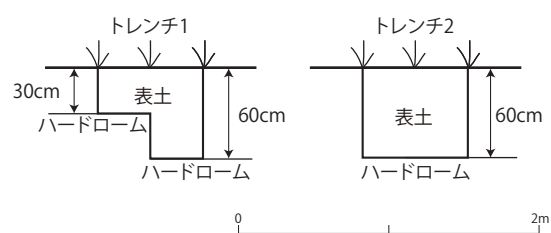
調査の結果、本地点では、遺構・遺物包含層及び遺物は認められなかった。



第 32 図 調査地点位置図 (S=1/2500)



第 33 図 トレンチ配置図



第 34 図 トレンチ柱状図



写真 1



写真 2

試掘調査

No. 19 松山遺跡

調査目的 共同住宅建設に伴う埋蔵文化財確認調査

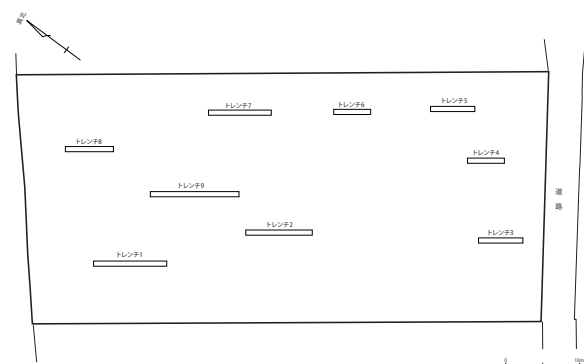
調査地点 新倉1丁目4031番、4032番1

調査日程 令和6年1月23日

調査面積 2,361.82㎡

調査概要 調査地は、松山遺跡（11-008）の西に位置する。調査は、対象地内に幅約70cm長さ約5m～12mのトレンチを9本設定した（第36図）。調査区全体を40cm～140cm程度まで掘り下げた（第37図）。

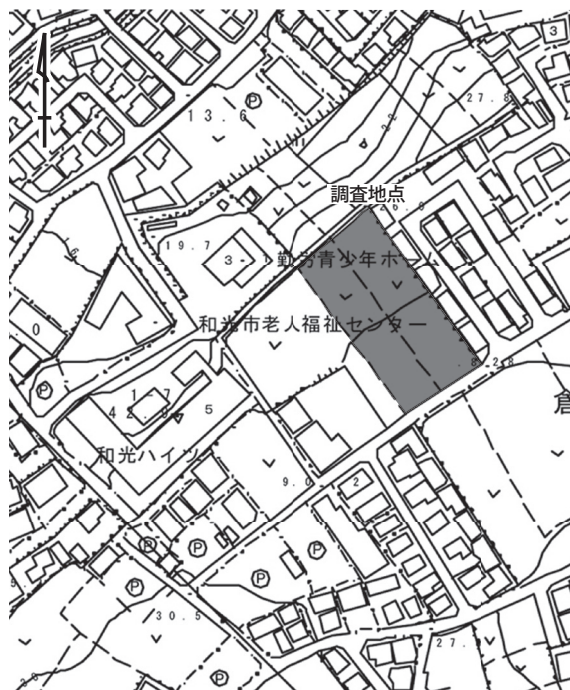
調査の結果、本地点では、遺構・遺物包含層及び遺物は認められなかった。



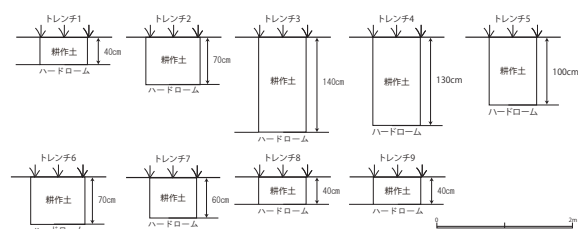
第36図 トレンチ配置図



写真1



第35図 調査地点位置図 (S=1/2500)



第37図 トレンチ柱状図



写真2

試掘調査

No. 20 市場峡・市場上遺跡

調査目的 分譲住宅建設・宅地造成に伴う
埋蔵文化財確認調査

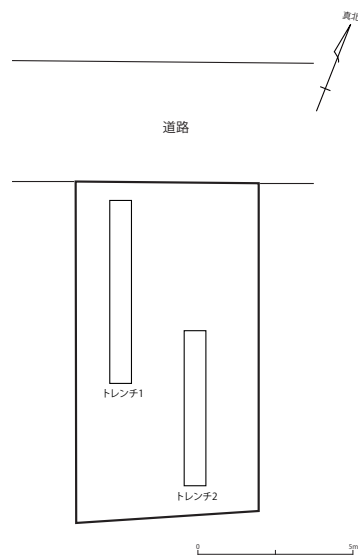
調査地点 白子3丁目664-6

調査日程 令和6年2月1日

調査面積 67.21㎡

調査概要 調査地は、市場峡・市場上遺跡(11-017)の西に位置する。調査は、対象地内に幅約70cm長さ約5mと5m90cmのトレンチを2本設定した(第39図)。調査区全体を80cm～120cm程度まで掘り下げた(第40図)。

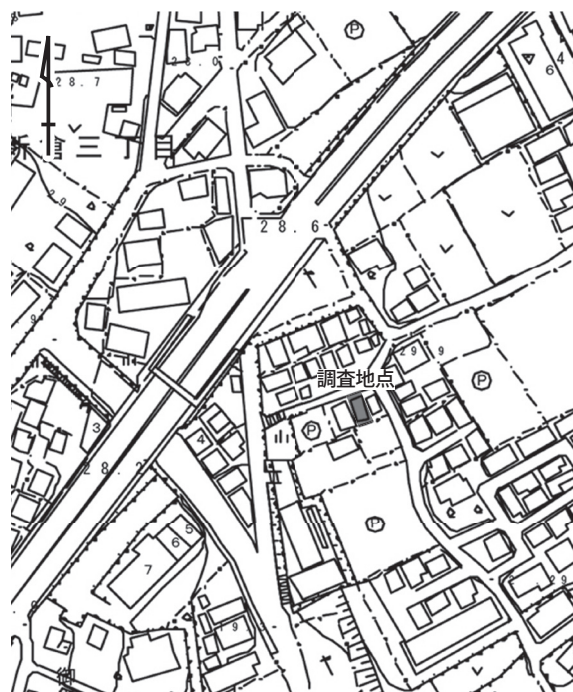
調査の結果、本地点では、遺構・遺物包含層及び遺物は認められなかった。



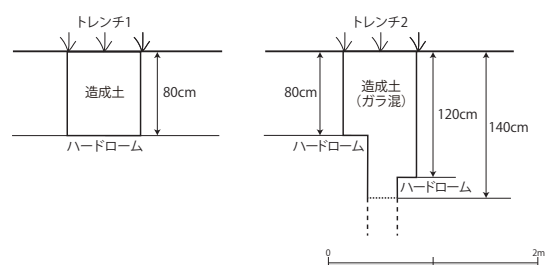
第39図 トレンチ配置図



写真1



第38図 調査地点位置図 (S=1/2500)



第40図 トレンチ柱状図



写真2

試掘調査

No. 21 越之上遺跡

調査目的 個人住宅建設に伴う埋蔵文化財確認調査

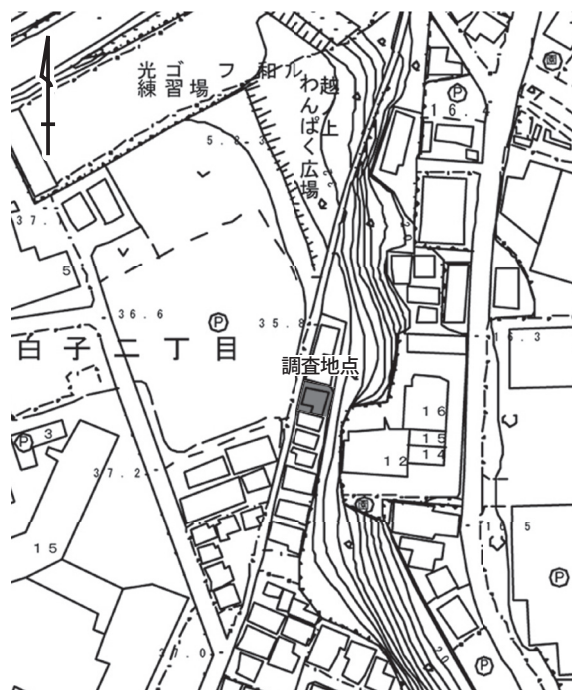
調査地点 白子2丁目7番34号

調査日程 令和6年2月7日

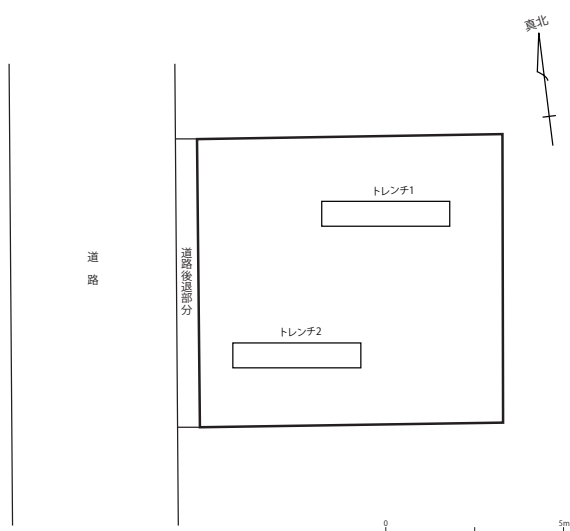
調査面積 39.80㎡

調査概要 調査地は、越之上遺跡（11-039）の東端に位置する。調査は、対象地内に幅約70cm長さ約3m60cmのトレンチを2本設定した（第42図）。調査区全体を80cm～100cm程度まで掘り下げた（第43図）。

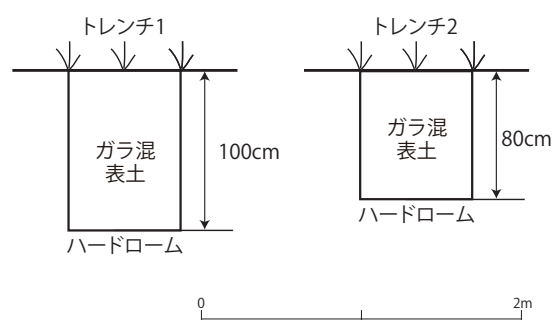
調査の結果、本地点では、遺構・遺物包含層及び遺物は認められなかった。



第41図 調査地点位置図 (S=1/2500)



第42図 トレンチ配置図



第43図 トレンチ柱状図



写真1



写真2

試掘調査

No. 22 午王山遺跡隣接地

調査目的 土地区画整理に伴う埋蔵文化財確認調査

調査地点 新倉 7 丁目他

調査日程 令和 6 年 2 月 14 日～ 28 日

調査面積 6,098.00㎡

調査概要 調査地は、午王山遺跡（11-005）の北側に隣接する。

調査は、4 箇所の工区（1・2・3・5 工区）内にそれぞれトレンチを設定した（第 44 図）。以下、工区別に調査順にそって報告をまとめる。

【3 工区】

●令和 6 年 2 月 14 日

●新倉 7 丁目 1959-1 他（3,140.00㎡）

重機により掘削されたトレンチを確認した。確認調査の結果、表土より下層には、ガラが混在する攪乱された地層が確認された。遺構・遺物は確認されなかった（第 45 図）。

【5 工区】

●令和 6 年 2 月 20 日

●新倉 8 丁目 2264（1,180.00㎡）

重機により掘削されたトレンチを確認した。確認調査の結果、表土より下層には、ガラが混在する攪乱された地層が確認された。遺構・遺物は確認されなかった（第 46 図）。

【2 工区】

●令和 6 年 2 月 22 日

●新倉 4 丁目 2007-1（1,028.00㎡）

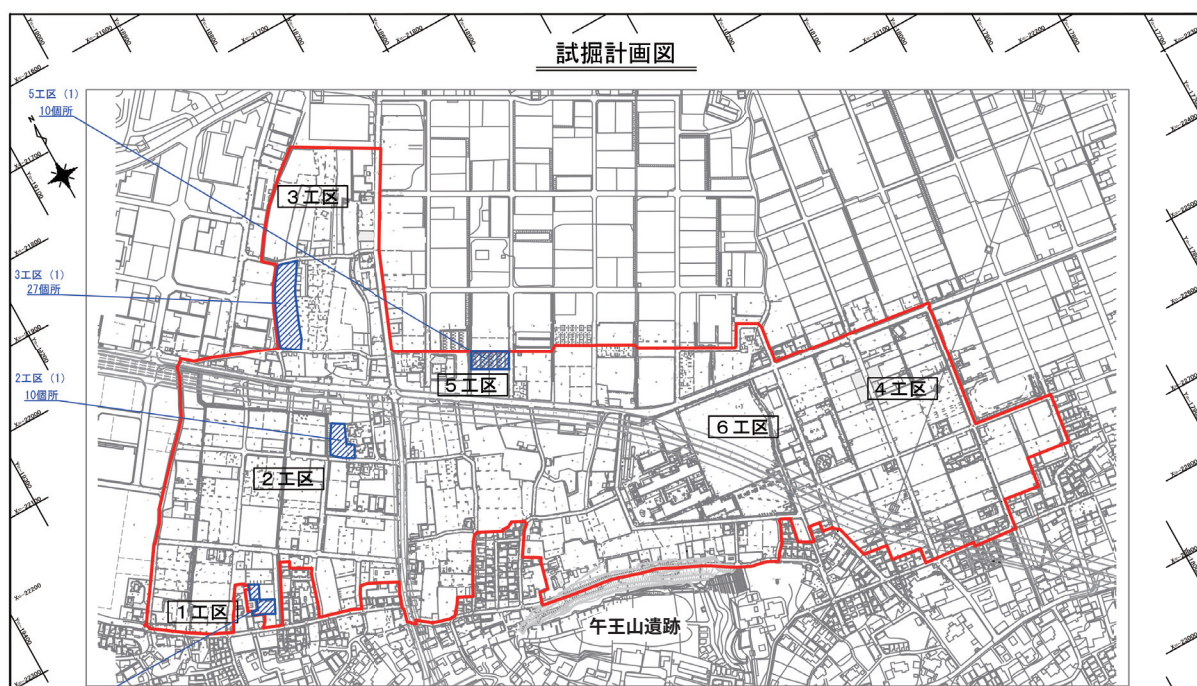
重機により掘削されたトレンチを確認した。確認調査の結果、表土より下層には、ガラが混在する攪乱された地層が確認された。遺構・遺物は確認されなかった（第 47 図）。

【1 工区】

●令和 6 年 2 月 28 日

●新倉 4 丁目 1846-1（750.00㎡）

重機により掘削されたトレンチを確認した。確認調査の結果、表土からガラが混在する攪乱された地層が確認された。遺構・遺物は確認されなかった（第 48 図）。



第 44 図 調査地点位置図

3工区(1) 拡大図



写真 1



写真 2

第 45 図 3 工区
5工区(1) 拡大図

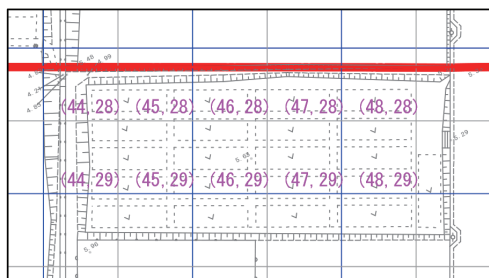


写真 3



写真 4

2工区(1) 拡大図

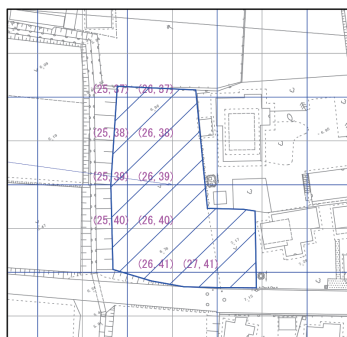


写真 5



写真 6

第 47 図 2 工区

1工区(3) 拡大図

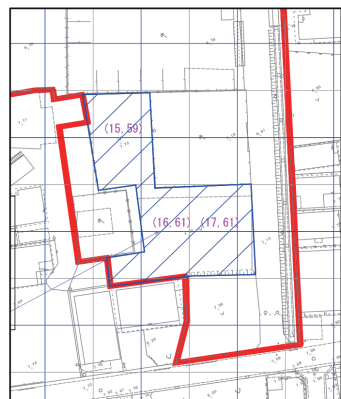


写真 7



写真 8

第 48 図 1 工区

試掘調査

No. 23 峯前遺跡

調査目的 個人住宅建設に伴う埋蔵文化財確認調査

調査地点 新倉 2 丁目 2997 番 1

調査日程 令和 6 年 2 月 29 日

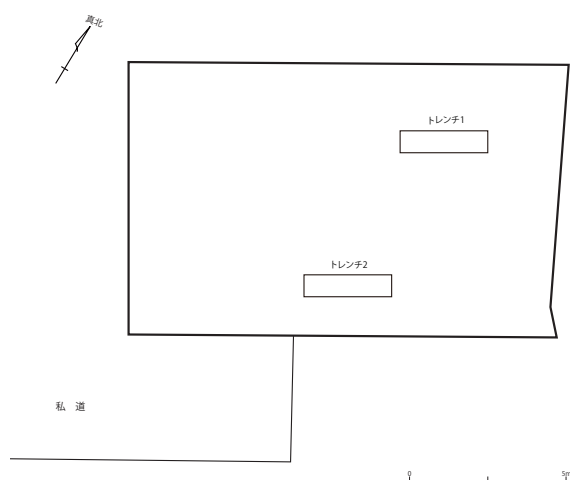
調査面積 119.62m²

調査概要 調査地は、峯前遺跡（11-003）の北西に位置する。調査は、対象地内に幅約 70cm 長さ約 2m80cm のトレンチを 2 本設定した（第 50 図）。調査区全体を 140cm～200cm 程度まで掘り下げた（第 51 図）。

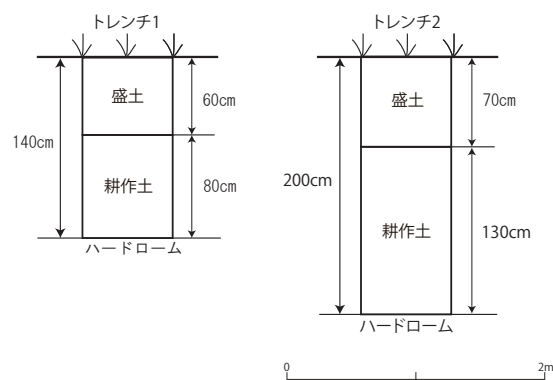
調査の結果、本地点では、遺構・遺物包含層及び遺物は認められなかった。



第 49 図 調査地点位置図 (S=1/2500)



第 50 図 トレンチ配置図



第 51 図 トレンチ柱状図



写真 1



写真 2

試掘調査

No. 26 下里遺跡

調査目的 個人住宅建設に伴う埋蔵文化財確認調査

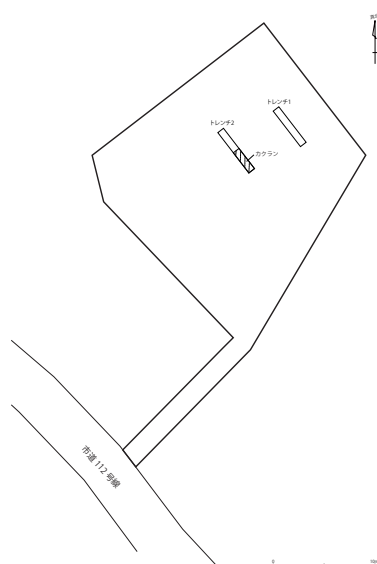
調査地点 下新倉4丁目 2260-3.2261-10
の各一部

調査日程 令和6年3月14日

調査面積 491.52㎡

調査概要 調査地は、下里遺跡（11-012）の北端に位置する。調査は、対象地内に幅約70cm長さ約4m40cmと5mのトレンチを2本設定した（第53図）。調査区全体を110cm～130cm程度まで掘り下げた（第54図）。

調査の結果、本地点では、遺構・遺物包含層及び遺物は認められなかった。



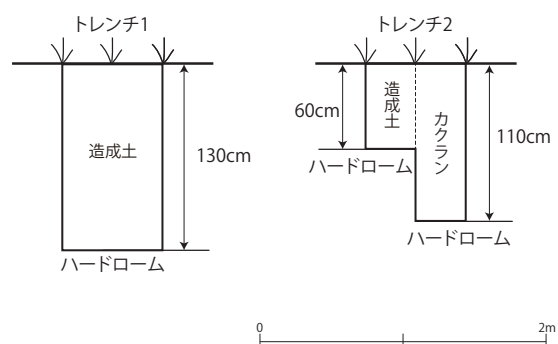
第53図 トレンチ配置図



写真1



第52図 調査地点位置図 (S=1/2500)



第54図 トレンチ柱状図



写真2

工事立会

No. 2 白子宿上遺跡

調査目的 電柱移設工事
 調査地点 白子 2-1432-1 地先
 調査日程 令和 5 年 4 月 15 日
 調査面積 2.00㎡
 調査概要 工事立会

工事立会

No. 10 花ノ木遺跡

調査目的 ガス管理設工事
 調査地点 新倉 2 丁目 3197-3、3197-5、
 3197-6
 調査日程 令和 5 年 8 月 28 日
 調査面積 11.00㎡
 調査概要 工事立会

工事立会

No. 13 仏ノ木遺跡

調査目的 電柱建替工事
 調査地点 下新倉 3 丁目 847-9
 調査日程 令和 5 年 10 月 16 日
 調査面積 1.00㎡
 調査概要 工事立会

工事立会

No. 16 仏ノ木遺跡

調査目的 支線撤去工事
 調査地点 下新倉 4 丁目 838-1
 調査日程 令和 5 年 12 月 4 日
 調査面積 1.00㎡
 調査概要 工事立会

工事立会

No. 25 花ノ木遺跡

調査目的 ガス管理設工事
 調査地点 新倉 2 丁目 3439-6.-8.-14.-15.-
 18.-19.3440-2.3459-2.-4.-3.-5.-
 6.3460-2.3475-2
 調査日程 令和 6 年 3 月 5 日・6 日
 調査面積 73.00㎡
 調査概要 工事立会

工事立会

No. 4 小井戸遺跡

調査目的 電柱移設工事
 調査地点 新倉 1 丁目 4103-1
 調査日程 令和 5 年 5 月 22 日
 調査面積 1.00㎡
 調査概要 工事立会

工事立会

No. 12 仏ノ木遺跡

調査目的 ガス管理設工事
 調査地点 下新倉 4 丁目 833-3
 調査日程 令和 5 年 9 月 19 日・20 日・21 日
 調査面積 45.00㎡
 調査概要 工事立会

工事立会

No. 15 吹上遺跡

調査目的 電柱撤去工事
 調査地点 白子 3 丁目 4384-2
 調査日程 令和 5 年 11 月 7 日
 調査面積 2.00㎡
 調査概要 工事立会

工事立会

No. 24 小井戸遺跡

調査目的 ガス管理設工事
 調査地点 新倉 1 丁目 4241-1・3
 調査日程 令和 6 年 3 月 4 日
 調査面積 14.16㎡
 調査概要 工事立会

工事立会

No. 28 吹上遺跡

調査目的 ガス管理設工事
 調査地点 白子 3 丁目丁目 13 番地 (4378-8)
 調査日程 令和 6 年 3 月 27 日
 調査面積 5.00㎡
 調査概要 工事立会

えぐち やよい（和光市教育委員会）

執筆者紹介

中岡 貴裕 (和光市教育委員会)
坂口 由加里 (和光市教育委員会)
江口 やよい (和光市教育委員会)

ISSN 2189-3276

和光市デジタルミュージアム紀要 第10号

発行日 令和7(2025)年6月30日発行

編集・発行 和光市教育委員会(担当:生涯学習課)

〒351-0192 埼玉県和光市広沢1-5

TEL 048-464-1111(代表)

和光市デジタルミュージアムれきたまURL

<https://rekitama-wako.jp>



れきたま
QRコード